



地区目標 ロータリーに夢をもって行動しましょう!!

クラブテーマ 想像から行動へ～優しさ溢れる出会い (DEI) のクラブ～

- ◆点鐘：市村 清勝 会長 ◆ロータリーソング：我等の生業
◆司会：平田 智則 S.A.A. ◆会場：山形グランドホテル

第2969回例会

令和5年1月30日(月)

会長あいさつ

市村 清勝 会長



今日は山形の魅力と山の魅力ということでお話させていただきます。

皆さんは山形県に百名山が何座あるかご存じでしょうか。6座あります。鳥海山、月山、大朝日岳、蔵王、飯豊山、吾妻山になります。

まず鳥海山。出羽富士と言われるくらいきれいな山で、2,236メートルあり山形で最も高い山です。とても風が強くて、でもすごく景色のいい山であります。当然日本海のほうも見えます。山形を代表する山だと思っています。

月山。月山はガス山と言われています。なかなか晴れ間に出合えないのですが、月山の一番の魅力はきれいなお花畑だと私は思っています。初心者でも日帰りで登れる美しい山なので、登ってみてはいかがでしょう。

朝日連峰。朝日岳と小朝日岳、登ってみてすごく紅葉がきれいな山なんだなということを改めて感じました。

蔵王。熊野岳、地蔵岳、刈田岳。山頂付近はとてもきれいで、山の雰囲気だけ味わいたい人は、サンダル履きでも行ける山でありますので、とてもいい山だと思います。お釜はいつもきれいで、観光客向けかなと思います。

飯豊連峰の飯豊山。蔵王のように簡単には登れません。百名山の中で達成感のある山ナンバー1です。それだけ登りにくいというか、登ったり下ったりで山頂まで遠いんです。1泊以上、中・上級ぐらいの人じゃないとなかなか難しいのかなと思っています。

吾妻連峰は西吾妻が一番高い山。一切経山には天候に恵まれるとこういう「魔女の瞳」という火口湖がきれいに見えます。万歳したくなります。山形の山はみんなとても魅力的な山なので、百名山、1回は皆さんに登っていただきたいなと思っています。

山形市というのは連峰に守られています。月山から大朝日岳にかけて朝日連峰、飯豊山を中心にする飯豊連峰、それから熊野岳を中心にする蔵王連峰に囲まれています。それで、すごく災害が少ないんですね。山形市は連峰に守られていて、自然災害の本当に少ない過ごしやすい土地であります。皆さん、山に感謝してください。そして山形県は出羽三山など山岳信仰が根強い地域ですから、山頂には必ず社があります。登った際にはぜひ手を合わせていただきたいなと思っています。

幹事報告

安部 弘行 幹事

- 下期年会費の振込期限が明日になっております。よろしくお願いいたします。
- 2月18日のIMでございますが、12時半パレス集合となっておりますので、皆さまの参加、ご協力よろしくお願いいたします。
- 本日の例会後、理事会を行います。理事、役員の方々が、お残りいただきますようお願いいたします

委員会報告

広報雑誌委員会

本日『ロータリーの友』2月号が配布になったかと思っておりますが、その表紙裏、「ロータリーの友 創刊70周年特別企画」として俳句コンテストの作品を募集しております。締切が2月28日と、1カ月を切りましたので、ぜひとも多くの方に投稿いただき、この『ロータリーの友』創刊70周年を祝っていただければと思います。よろしくお願いいたします。

米山奨学会委員会

本日、冊子に入っています『ガバナー月信』、こちらの8ページに2023年度米山奨学生の選考会の報告書を記載させていただきます。来年度、4月からの活動になりますので、皆さん目を通していただければと思います。よろしくお願いいたします。

ニコニコBOX

〈1月30日〉

市村清勝会長／孫がバスケットボールを始めた

孫がやっとバスケットボールを始めてミニバスケの試合に出て、初得点をしました。じいは動画で涙を流しております。

米山委員会よりお礼とご報告

今年度は、ハオさんの世話クラブとしてご賛同いただきましてありがとうございました。また、カウンセラーとして活動いただきました後藤章洋会員には心より感謝申し上げます。おかげを持ちましてハオさんは令和5年2月4日米山奨学生の卒業式を迎えることができました。これも皆様のご理解のおかげだと思っております。一年間ありがとうございました。

さて、昨年12月3日、米山奨学選考員として次年度奨学生の面接試験を実施致しました。事前に書類選考を終えた17名の学生はオリエンテーション後今年度の論文テーマである『将来の夢』について30分間の筆記試験（日本語）に望みました。その後面接を行い採点結果は大きな点差は付かず選考員全員ほぼ一致しておりました。今年度合格者10名、内訳は山形大学9名（小白川キャンパス内学部4名、米沢工学部3名、鶴岡農学部2名）、酒田東北公益大1名になります。

また昨年より継続学生3名山形大学（小白川キャンパス内学部1名、米沢工学部2名）計13名を2800地区全体でお世話することになっております。しかし大学の所在地や地域によるアクセスの悪さなど偏りはございますがご理解頂きますようお願い申し上げます。

その中で次年度は山形大学地域教育文化3年生で韓国より留学しておりますジョン・チャンビンさんを山形西RCでお世話いたします。今年度も皆様よりお力添え頂かなければなりません。4月1日より一年間よろしくお願い申し上げます。

今年度も米山活動にご理解いただけますようお願い申し上げます。



会員卓話



企業向け 外国人相談窓口について

鈴木 伸英 さん

【公益財団法人 山形県国際交流協会 国際交流推進員】

私からは、国際交流協会の中に企業向け外国人相談窓口がありますが、そこについてご説明をしたいと思います。

企業向け外国人相談窓口について申し上げます。平成31年に立ち上がりまして、外国人材の活用を検討する企業様向けの相談の窓口です。県内の山形県行政書士会との連携を主におこなっております。2019年、平成31年に政府において今まで日本で認められていなかった単純労働に新しい在留資格ができました。このため、単純労働の分野でも外国人がこれから増えるであろう、ということが予測されましたので、こういった窓口が設置されたということになっております。

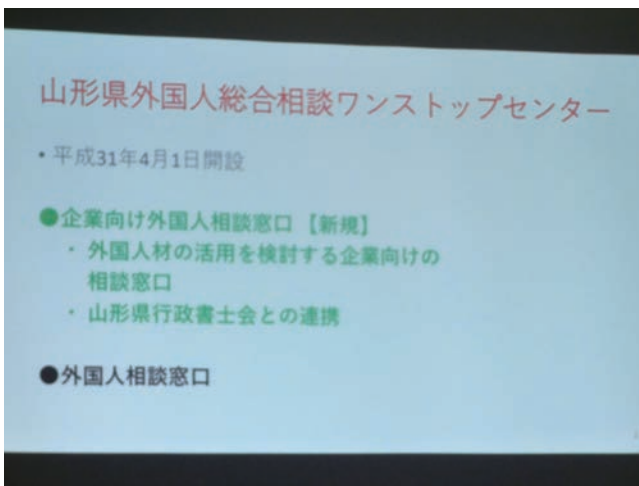
昨年10月末では、外国人の労働者数は山形県内においては4,600人、前年比で173人でした。伸び率は3.5%ほどですけれども、全国に至りますと182万2千人ほどの外国人の労働者がおります。前年比で9万5千人ほど増えまして、伸び率が5%以上になっておりました。

山形の産業別労働者を見てみますと、圧倒的に製造業が多くて山形では2,200人ほど。50%近くが製造業になります。全国で見ますと製造業は約25%くらいなので、山形県が特別製造業が多い分野だということが分かります。県内の労働者数はどんどん増えておまして、雇用の事業者数も今1,096件ということで、雇用されている事業者様の規模としましては30名以下がほしい60%くらい、100人以下の規模も含めると80%くらいが外国人を雇用する事業者の構成となっております。

ここで経営者の皆さまにはポイントとして2つ申し上げます。1つは何らかの就労制限があるということ。働く時間、働く業種、そういったことが制限されている方が大体7割くらいいらっしゃいます。もう1つは、雇用の流動性がある分野だということです。技能実習生という方は、制度設計上、3年でほとんどの方が帰ります。常に雇用の流動性があるんだという分野の職、業種、在留資格になります。

県内の在住外国人はどこが多いのか調べてみました。現在は中国とか韓国、フィリピン、ベトナム、インドネシアが中心で、主に日本の近くの国から日本に来ているという感じになります。今はベトナムが非常に増えてますね。

これからどうなるのかということをご予測しますと、世間でいろいろ謳われております日本の賃金の低下とか、競争力など、こういったところにも及んでいまして、外国人の人材の獲得が東アジアの国とバタニングする傾向があります。広く日本に来る人材も今まで来なかつ



たような、例えばモンゴルですとか、東南アジアよりもっと西、南に行く、ミャンマーですとか、バングラデシュとかインド、ネパールと、そういった国からの人材がこれから少しずつ増えてくるだろうと予想されます。現在の日本は高齢化、人口減少、少子化といった問題がありますけど、韓国も台湾も中国も、同じようなモードに入ってきて、そういった国がまもなく外国人をたくさん受け入れる国になりつつあります。

外国人を雇うには3つの壁がある、と感じております。意識の壁、言葉の壁、生活の壁です。意識の壁はまず日本に対して、外国人がどう思っているかという動機付け、なぜ日本に来たのかということをやはり雇用者としては確認しておく必要があると思います。まず確認が第1歩かなというふうに感じました。私、窓口を担当して約3年になりますけれども、経営者の方、もしくはマネジメントされる方が外国人に「仕事の目的はこれ。ならばどうしよう」というスタンスと、「人が足りないからとりあえず外国人を求めようか」というスタンスでは、スタートで1段か2段くらい、あとからの問題が変わってくるように感じます。

経営者の方と意思疎通をすることで、外国人本来の、「仕事をしたいんだ」という目的と、そうでない、少し遊び感覚で日本に来たいという感覚が非常に分かりますから、やはり日本に来てこういうことを勉強をしたいんだという人を、こういう仕事をしたいんだということを見極めるのが1つのこの壁を取り払う要因かなというふうに感じている次第です。

2番目、言葉の壁について。技能実習とか、特定活動とか、そういった在留資格があるんですけども、ある程度日本語が話せるような状態で日本に来て、それで彼らは6カ月間ほど現地で勉強して、日本に来てさらに1カ月ほど勉強して現場に入ります。そういう制度設計になっておりますけれども、「日本語ができない人が増えたんだよ」とおっしゃる社長さんが増えてきました。人材の需給バランスがどうしても台湾、韓国、中国といった国と競争になって、人材の獲得競争が少し起こりつつあるような気配です。

加えて、彼らが習った日本語というのは丁寧なやさしい普通の日本語ですから、方言、早口、現場言葉、そういったことで非常に自信をなくします。ここが日本人と外国人の思う日本語学習の少しギャップがあるところです。ですので、言葉のコミュニティから脱落せずにケアをしていくこと、もう一度見直してみる、ということをおっしゃる方が増えたように感じます。

3つ目の生活の壁ですけれども、これこそがやはり経営者として、マネージャーとしてはっきり外国人の方に話していただいて、いわゆる合意形成を作るところだと思います。

一番多いのは、いわゆる宗教について。この仕事では宗教をこういうふうにしてください、お祈りとかは仕事中にはしないでくださいよ、してもいいですよ、とか、あらかじめ決めることです。それを合意形成をもって日本人にも外国人にも分かるようにすることが1つのポイントだと思います。

食べられないもの、食べていいもの、こういったことについてもやはり合意形成が必要で、会社のイベントなどもたくさんあるので、配慮が必要だなということを感じます。同じように断食も会社で配慮し、少し早めに帰るとか、早めに出社するとか、そういうように進める企業様もいらっしゃいました。いろいろ組み合わせながら働くと、外国人も自分たちが大切にされているんだなという感じがするようにお聞きしております。

われわれ相談員のほかに行政書士会に専門のチームがおりますので、彼らの経験値というのは非常に毎日積み上がっております。正解がないところで彼らの日々の業務が新しい知見が増えていくような感じが昨今の状況ですので、いろんなことをご相談していただければ何らかのお手伝いができるものと感じております。

われわれ相談窓口には、外国から来た外国人に対するケアの窓口と、今私が申し上げているような企業様向けの相談窓口があります。2つの窓口のほかに専門機関との連携というものがあまして、出入国在留管理局、山形市弁護士会、山形県行政書士会、こういった方と連携もできますので、相談無料、秘密厳守で対応させていただきます。何がしかお手伝いができることがあると思いますので、これから雇用を検討される場合、すでに外国人を雇用されましたという企業様でも結構です。また、今雇用していますけれども、どうしようか、継続しようかと悩んでいる企業様もおありになるようですので、ぜひお気軽にご相談をいただきましたら幸いです。

最後になりますが、協会でもまもなく「災害時外国人支援セミナー」というものを開催いたします。外国人が、災害が来たとき真っ先に困るのは、何が来たのか、地震も何も分からないという人が多そうですので、こういったことにご興味がありましたらぜひご参加をよろしくお願いたします。また、賛助会員の募集も引き続きおこなっておりますので、ぜひよろしくお願いたします。

本日出席 (1 / 30)	会員総数	出席会員数
	100名	64名 (Zoom参加8名含む)